

CS こひつじ科礼拝式次第

2021年6月27日 午前9時30分

2021年度年間テーマ：「光の子として歩もう！～イエスさま 来てください～」

テーマ曲：ワワワいっしょに（92番）

暗唱聖句：「安息日を心に留め、これを聖別せよ。」 出エジプト記 20章8節

2、せかいのともよ（こどもさんびかをお用いください）

おいのり 礼拝に招かれたことを感謝しましょう

せいしよ 出エジプト記20章8～12節

安息日を心に留め、これを聖別せよ。六日の間働いて、何であれあなたの仕事をし、七日目は、あなたの神、主の安息日であるから、いかなる仕事もしてはならない。あなたも、息子も、娘も、男女の奴隷も、家畜も、あなたの町の門の中に寄留する人々も同様である。六日の間に主は天と地と海とそこにあるすべてのものを造り、七日目に休まれたから、主は安息日を祝福して聖別されたのである。

おはなし 「主の日の安息—聖なるものとなれ」 五十嵐美代枝先生

子どもと親のカテキズム—神さまと共に歩む道（日本キリスト改革派教会大会教育委員会）

問68 第四戒は何ですか

答 「安息日を心に留め、これを聖別せよ」です

問69 第四戒で、神さまは私たちに何を求めておられますか

答 私たちの安息日は、キリストが復活された日曜日です。神さまは、この日を主の日として、特別に取りわけ、教会で礼拝をささげ、救いの祝福を喜び、きよく休んで六日間の歩みに備えることを求めておられます。この安息日の恵みに励まされて、私たちは御国をめざして神さまと共に歩みます。

今日は十戒のうちの第四戒を学びます。

第四戒は「安息日を心に留め、これを聖別せよ。」です。

神さまは、六日の間に天と地と海とそこにあるすべてのものを造られ、満足して七日目に休まれました。そしてこれらすべてを祝福して聖別されました。

神さまは一週間、七日の中の一日（週の終わりの日）を特別に聖なるものと定めて、安息のために一日を用いるように言われました。この安息日は、イエスさまが十字架にかかって死なれて復活されるまでは土曜日でした（旧約時代）。日月火水木金の六日の間、人々はそれぞれ与えられた仕事や勉強をして、週の終わりの土曜日に休み、神さまに礼拝をささげていました。

人間は疲れると心や体の調子が悪くなり病気になることがありますから、体を休ませることは大切なことです。でも、神さまが私たち人間に安息日を心に留めさせ、特別な日とされた第一の理由は、何をしておいてもまず “神さまを礼拝する” ことです。

私たちは、この世界を創造し、今も全てを治め、私たちを守り生かして下さっている主なる神さまに感謝して、心からの讃美をもって礼拝をしなければなりません。そのことをしっかり覚えて生きることが神さまは私たちに求めておられます。

今、私たちは、イエスさまが私たちの罪のために十字架にかかって死んで下さり復活された後に生きています（新約時代）。ですから、私たちはイエスさまの復活を覚えて、週の初めの日曜日に礼拝をさせます。イエスさまは神のみ子で唯一の私たちの罪からの救い主です。救い主イエスさまがおられなければ、私たちは天国に行くことはできません。このことを忘れずに、週の初めの日は、特別に聖なるものとして取り分け、教会に行き、イエスさまを礼拝することから始めましょう。そして神さまから与えられた働き（仕事や勉強など）を月曜日からがんばりましょう。

今日学んだことをしっかり心に留め、週の初めの日曜日にまずイエスさまを礼拝し、神さまの祝福を受けて力をいただき、それに続く月曜日から土曜日までの六日間も、祈りとともにイエスさまと共に歩む生活をしていきましょう。

* 小さなお子さまには、話の内容等をわかりやすく、年齢に合わせて噛み砕いてお話くださいますようお願い致します。

（けんきん）会堂 2 階掲示板下の机に献金箱を設置しました。

おいでの際におささげください。

40、かみよ このひ（こどもさんびかをお用ください）